2026年12月期　第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月10日

上場会社名　　小林製薬株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4967　　ＵＲＬ　https://www.kobayashi.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）豊田　賀一
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　財務本部長　　（氏名）中川　由美　　ＴＥＬ　06-6222-0142

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第3四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第3四半期	113,492	1.3	6,761	△41.2	7,454	△42.4	7,737	13.6
2025年12月期第3四半期	112,038	△2.1	11,495	△32.3	12,930	△27.9	6,809	27.4

（注）包括利益　2026年12月期第3四半期 6,769百万円 （10.1%）　2025年12月期第3四半期 6,146百万円 （△14.3%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第3四半期	104.09	ー
2025年12月期第3四半期	91.60	ー

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第3四半期	250,406	210,038	83.5
2025年12月期	275,329	211,008	76.3

（参考）自己資本　2026年12月期第3四半期　209,163百万円　2025年12月期　210,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	44.00	ー	60.00	104.00
2026年12月期	ー	45.00	ー		
2026年12月期（予想）				61.00	106.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	173,000	4.4	12,500	△16.2	13,000	△23.5	10,000	173.5	134.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期3Q	78,050,000株	2025年12月期	78,050,000株
②　期末自己株式数	2026年12月期3Q	3,711,383株	2025年12月期	3,711,236株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期3Q	74,338,684株	2025年12月期3Q	74,338,814株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1.経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は2026年11月10日（火）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催当日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1．経営成績等の概況 …… 2
(1) 当四半期の経営成績の概況 …… 2
(2) 当四半期の財政状態の概況 …… 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
2．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結貸借対照表に関する注記） …… 8
（四半期連結損益計算書に関する注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（収益認識に関する注記） …… 10
（重要な後発事象の注記） …… 10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社紅麹関連製品に関して、健康被害にあわれた方々への誠実な補償対応を最優先に進めるとともに、策定した再発防止策を着実に実行しております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループをとりまく経営環境は、中東情勢の緊迫化に伴う軍事衝突の発生等、地政学リスクが急速に高まっており、これに起因する国際物流の混乱やエネルギー価格の高騰、資材確保の難化に加え、為替変動や各国の法規制強化といったリスクも重なり、先行き不透明な状況が続きました。

その結果、売上高は113,492百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は6,761百万円（前年同期比41.2%減）、経常利益は7,454百万円（前年同期比42.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,737百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

国内事業

当事業では、今春発売した9品目の新製品が売上増加に貢献しました。代表的な製品として、食後血糖値とヘモグロビンA1c（HbA1c）値の両方を対策できるサプリメント「サラシア100プレミアム」、口内に広がる炭酸感と爽快感で洗ったような息リセットを実感できるタブレット型のブレスケア「ブレスケア 炭酸タブレット」、表面をなめらかにすることで着色汚れの付着を抑制し、艶やかで自然な白い歯にするハミガキ「美白スミガキ プレミアム」、お部屋やトイレに漂う10大悪臭を無香料で瞬間消臭できるスプレー消臭剤「消臭元ZEROスプレー」等があります。

紅麹関連製品の自主回収に伴い広告を一時停止していましたが、2025年7月の本格的なテレビ広告再開を機に、その後も継続的にマーケティング活動を展開しております。当第3四半期連結累計期間においては、中東情勢による売上・利益影響に加え、例年に比べ感染症の流行が限定的であったことや天候不順の影響もあり、風邪関連製品及び暑さ対策製品の需要が低迷いたしました。

その結果、売上高は84,381百万円（前年同期比0.0%増）、セグメント利益は7,657百万円（前年同期比34.4%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第3四半期連結累計期間では2,896百万円、当第3四半期連結累計期間では4,068百万円となっております。

なお、自社通販サイト及びコールセンターを通じた製品の販売は2025年12月末をもって終了いたしました。それに伴い、以下の外部顧客への売上高の内訳につきましては、前第3四半期連結累計期間のヘルスケア43,720百万円に通販2,263百万円を含めて表示しております。

（外部顧客への売上高の内訳）

	前第3四半期連結累計期間 （自　2025年1月1日 至　2025年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自　2026年1月1日 至　2026年9月30日）	増減	
	金額（百万円）	金額（百万円）	金額 （百万円）	増減率 （%）
ヘルスケア	43,720	43,561	△158	△0.4
日用品	36,188	35,542	△645	△1.8
カイロ	1,569	1,209	△359	△22.9
合計	81,477	80,313	△1,164	△1.4

国際事業

当事業では、米国・中国・東南アジアを中心に、カイロや額用冷却シート「熱さまシート」、外用消炎鎮痛剤「アンメルツ」等を販売しており、広告や販売促進等、積極的に投資することで売上拡大に努めました。

米国では、2026年末の冬に向けたカイロの送品が好調だった一方、第1四半期より継続している製造委託先の変更に伴う一時的な出荷抑制の影響で減収となりました。

中国では、「熱さまシート」、「アンメルツ」を中心に、その他多くの製品も好調に推移し、大幅な増収となりました。

東南アジアにおいても、「熱さまシート」、「アンメルツ」が堅調に推移し、増収となりました。

その結果、売上高は33,980百万円（前年同期比8.9%増）、セグメント損失は956百万円（前年同期はセグメント損失206百万円）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第3四半期連結累計期間では1,083百万円、当第3四半期連結累計期間では1,301百万円となっております。

（外部顧客への売上高の内訳）

	前第3四半期連結累計期間 （自　2025年1月1日 至　2025年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自　2026年1月1日 至　2026年9月30日）	増減	
	金額（百万円）	金額（百万円）	金額 （百万円）	増減率 （%）
米国	15,480	14,911	△568	△3.7
中国	6,091	8,023	1,931	31.7
東南アジア	5,645	6,429	784	13.9
その他	2,904	3,313	409	14.1
合計	30,121	32,678	2,557	8.5

その他

その他には、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおり、各社は独立採算で経営し、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は4,792百万円（前年同期比1.6%増）、セグメント利益は68百万円（前年同期比43.3%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第3四半期連結累計期間では4,279百万円、当第3四半期連結累計期間では4,292百万円となっております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末に比べ24,922百万円減少し、250,406百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（12,331百万円）、受取手形及び売掛金の減少（13,108百万円）等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ23,952百万円減少し、40,367百万円となりました。主な要因は、未払金の減少（15,383百万円）、電子記録債務の減少（3,604百万円）等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ969百万円減少し、210,038百万円となり、自己資本比率は83.5%となりました。主な要因は、為替換算調整勘定の増加（643百万円）、その他有価証券評価差額金の減少（1,651百万円）等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年2月10日付け公表の「2025年12月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,314	49,982
受取手形及び売掛金	52,180	39,071
有価証券	8,300	4,500
商品及び製品	14,710	21,628
仕掛品	2,022	2,144
原材料及び貯蔵品	6,020	6,917
その他	3,316	3,559
貸倒引当金	△45	△25
流動資産合計	148,820	127,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,248	47,981
機械装置及び運搬具（純額）	7,004	7,548
工具、器具及び備品（純額）	2,591	3,194
土地	6,211	6,371
リース資産（純額）	655	634
建設仮勘定	17,656	2,613
有形固定資産合計	67,367	68,343
無形固定資産		
のれん	7,711	6,653
商標権	6,566	5,417
ソフトウエア	2,620	2,774
その他	516	528
無形固定資産合計	17,414	15,374
投資その他の資産		
投資有価証券	31,840	28,383
長期貸付金	1,334	1,369
退職給付に係る資産	891	974
繰延税金資産	5,264	5,854
投資不動産（純額）	2,442	2,421
その他	1,335	1,307
貸倒引当金	△1,382	△1,400
投資その他の資産合計	41,726	38,909
固定資産合計	126,508	122,628
資産合計	275,329	250,406

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第3四半期連結会計期間 （2026年9月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,458	7,691
電子記録債務	6,440	2,836
未払金	30,916	15,533
リース債務	319	236
未払法人税等	1,852	673
未払消費税等	1,138	646
賞与引当金	3,052	1,734
製品回収関連損失引当金	2,176	1,069
その他	5,783	5,970
流動負債合計	60,137	36,392
固定負債		
リース債務	359	428
退職給付に係る負債	989	966
その他	2,833	2,579
固定負債合計	4,182	3,975
負債合計	64,320	40,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	522	522
利益剰余金	204,240	204,172
自己株式	△24,767	△24,768
株主資本合計	183,444	183,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,085	11,433
為替換算調整勘定	13,012	13,656
退職給付に係る調整累計額	663	697
その他の包括利益累計額合計	26,761	25,786
新株予約権	793	860
非支配株主持分	9	14
純資産合計	211,008	210,038
負債純資産合計	275,329	250,406

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自　2025年1月1日 至　2025年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自　2026年1月1日 至　2026年9月30日）
売上高	112,038	113,492
売上原価	53,176	55,205
売上総利益	58,861	58,286
販売費及び一般管理費	47,365	51,524
営業利益	11,495	6,761
営業外収益		
受取利息	210	448
受取配当金	341	309
不動産賃貸料	229	212
その他	1,163	347
営業外収益合計	1,944	1,318
営業外費用		
支払利息	15	15
不動産賃貸原価	78	59
為替差損	155	326
その他	260	224
営業外費用合計	510	625
経常利益	12,930	7,454
特別利益		
固定資産売却益	55	279
投資有価証券売却益	110	3,744
受取保険金	－	372
その他	17	21
特別利益合計	183	4,417
特別損失		
固定資産処分損	35	113
製品回収関連損失	3,386	843
事業所統合費用	－	713
その他	424	237
特別損失合計	3,846	1,908
税金等調整前四半期純利益	9,266	9,963
法人税、住民税及び事業税	2,328	2,061
法人税等調整額	128	157
法人税等合計	2,456	2,219
四半期純利益	6,809	7,744
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,809	7,737

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自　2025年1月1日 至　2025年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自　2026年1月1日 至　2026年9月30日）
四半期純利益	6,809	7,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,024	△1,651
為替換算調整勘定	△2,742	643
退職給付に係る調整額	54	33
その他の包括利益合計	△662	△974
四半期包括利益	6,146	6,769
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,147	6,763
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結貸借対照表に関する注記）

（偶発債務）

当社紅麹関連製品に関する健康被害や自主回収情報等を公表して2年以上経過しましたが、引き続き企業様からの回収費用に係る情報収集及びその費用のお支払いや、健康被害にあわれたお客様からの補償申請書類の確認や医療費等の補償のお支払いを順次進めているところです。

当該事象に関連して、主に企業様向け紅麹原料の回収費用及び健康被害にあわれたお客様への補償費用について、現時点で合理的に見積り可能な範囲内で、製品回収関連損失引当金として計上しておりますが、訴訟等、現時点で合理的な見積りに及ばない範囲については、当社がその総額を合理的に見積ることは困難であり、追加的に費用が発生する可能性があります。

（四半期連結損益計算書に関する注記）

（製品回収関連損失）

当第3四半期連結累計期間において、紅麹関連製品の回収及びその関連費用等について、製品回収関連損失843百万円を特別損失として計上しております。製品回収関連損失の主な内訳は、企業様向け紅麹原料の回収費用、健康被害にあわれたお客様への補償費用及び製品回収関連損失引当金の繰入等となります。

（事業所統合費用）

「中央研究所」が担ってきた研究開発機能と、「大阪工場」内にあった製造本部の技術開発機能を統合させた、「彩都ものづくりラボ」を竣工いたしました。これに伴い発生した機器の移設費用及び廃棄費用等について、当第3四半期連結累計期間に事業所統合費用713百万円を特別損失として計上しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自　2025年1月1日 至　2025年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自　2026年1月1日 至　2026年9月30日）
減価償却費	5,446百万円	6,225百万円
のれんの償却額	1,032	1,104

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第3四半期連結累計期間（自　2025年1月1日　至　2025年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	国内事業	国際事業	計				
売上高							
日本	81,477	－	81,477	439	81,917	－	81,917
米国	－	15,480	15,480	－	15,480	－	15,480
中国	－	6,091	6,091	－	6,091	－	6,091
東南アジア	－	5,645	5,645	－	5,645	－	5,645
その他	－	2,904	2,904	－	2,904	－	2,904
顧客との契約から生じる収益	81,477	30,121	111,598	439	112,038	－	112,038
外部顧客への売上高	81,477	30,121	111,598	439	112,038	－	112,038
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,896	1,083	3,980	4,279	8,260	△8,260	－
計	84,374	31,204	115,578	4,719	120,298	△8,260	112,038
セグメント利益又は損失（△）	11,682	△206	11,475	120	11,595	△100	11,495

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△100百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第3四半期連結累計期間（自　2026年1月1日　至　2026年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	国内事業	国際事業	計				
売上高							
日本	80,313	－	80,313	500	80,813	－	80,813
米国	－	14,911	14,911	－	14,911	－	14,911
中国	－	8,023	8,023	－	8,023	－	8,023
東南アジア	－	6,429	6,429	－	6,429	－	6,429
その他	－	3,313	3,313	－	3,313	－	3,313
顧客との契約から生じる収益	80,313	32,678	112,991	500	113,492	－	113,492
外部顧客への売上高	80,313	32,678	112,991	500	113,492	－	113,492
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,068	1,301	5,369	4,292	9,662	△9,662	－
計	84,381	33,980	118,361	4,792	123,154	△9,662	113,492
セグメント利益又は損失（△）	7,657	△956	6,701	68	6,769	△7	6,761

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△7百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（収益認識に関する注記）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。